



Baika Library Times

どうして魔女は意地悪なの？

—小さなキリクの大きな好奇心—

児童文学科教授 廉岡 糸子

おとぎ話には魔女が度々登場するが、大抵は滅ぼされて、話はめでたく終わる。ではどうして滅ぼされるのだろうか。我々は、魔女は善良な人々を苦しめるがゆえに滅ぼされて当然だと思い込まされている節がある。従って魔女の気持ちをおもんばかる人はそんなに多くないだろう。フランスのアニメーション『キリクと魔女』は、何故魔女が意地悪なのかを明らかにしてくれる。

原作、脚本、監督はミッシェル・オスロで、アフリカのある村を舞台にした、生まれたばかりの男の子キリクと魔女カラバの話である。キリクは生まれるとすぐ、彼の父親も含めて村の男たちは皆カラバの許へ連れて行かれて、食われてしまったことを知る。そこで彼が「どうして魔女は意地悪なの？」と問うと、「魔女だからじゃ」と答えが返ってくる。が、「じゃ、どうして魔女なの？」との問いに答えられる者はなく、キリクはますます「何故？」を追求していく。

キリクはカラバの監視網を巧みにくぐり抜け、お山の賢者と呼ばれる祖父に会いに行く。彼は物事があるがままに語るからだ。そこで分かったことは、カラバはかつて男たちに押さえつけられて背に棘を打ち込まれ、その痛みを日夜苦しんでいるが、その時魔力を受けられたということだった。

何故男たちはカラバにそんな仕打ちをしたのか。おそらく彼女が男に従わなかったからだろう。最後に小さなキリクが棘を抜き取り、魔力を失ったカラバに結婚を申し込んだ時、彼女は「私は誰とも結婚しない、魔女でなくなっても一つだけ変わらない。誰の召使いにもならない」と言っている。このような考え方は男たちを激怒させたに違いない。迷信・因習を信じ、村の規範に従う人々からみれば、カラバは罰せられるべき女だったのだろう。それゆえ彼女は女たちを軽蔑し、彼女を支配下に置こうとする男たちを嫌悪したのである。

カラバが男たちを食らうのではなく小鬼に変えてこき使い、村を支配したのは、彼女を封じ込めようとする男たちと、かれらに従う女たちに復讐するためだった。深く傷ついたカラバの心を癒すのは、お守りも何も持たない、無心なキリクである。いつも目覚めていて、世の迷信・因習に惑わされないキリクの自由な知性がカラバを救った。小さなキリクが「ボクの妻になっても、絶対ボクの召使いじゃない」と言って、一挙に逞しい若者に変身するのは、彼女への誓いを実践するためだろうか。村人はしぶしぶカラバを許すが、かれらは彼女に許されたことを知らないようだ。キリクの「何故？」が世界を変える。

このアニメは実に美しいアフリカを見せてくれる。オスロ監督が子ども時代にギニアで過ごした経験が原点になっている映像はシンプルかつ優美で、村の佇まいや熱帯の森に心奪われる。小動物もいい、服など着せられてなくて。

目次:

どうして魔女は意地悪なの？ - 小さなキリクの大きな好奇心 -	1
雑誌と紀要について	2
2階電動書架について	5
2005年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ	6
学園資料室展示	7
リクエスト(学生希望資料)制度について	7
新収資料から	8

雑誌と紀要について

みなさんは、雑誌と紀要の違いをご存知でしょうか？

雑誌はなんとなく分かるけれど、紀要という言葉自体の意味が分からない、という方が多いのではないのでしょうか。今回は雑誌と紀要の言葉の意味や配架場所、OPACでの検索結果の見方をご紹介します。

雑誌とは？

雑誌とは、逐次刊行物（1つのタイトルのもとに終期を予定せず継続して刊行される資料のこと）の中の1つに当たります。複数の執筆者や記者が書いた作品や記事・写真などを掲載しており、多くは週刊から季刊程度の頻度で定期的に刊行される出版物です。

紀要とは？

紀要は、「大学・研究機関・学会などの学術団体が発行する研究論文集」のことを言います。紀要名も多種多様で、大学紀要、大学紀要自然科学篇など、大学名や学科名が入っている場合もあります。

雑誌・紀要の貸出条件一覧表
(貸出可能冊数は、雑誌・紀要あわせて3冊)

	雑誌	紀要
最新号	一夜貸し(16:00～翌朝10:30)	1週間
バックナンバー	1週間(但し、貸出可の雑誌のみ)	

雑誌・紀要の探し方：OPAC画面の見方

OPACで本学に所蔵している雑誌・紀要をすべて検索することができます。それでは検索してみましょう。ここでは、検索結果画面の説明を行います。(OPACの検索方法は、前号〔BLT10号〕をご覧ください。)

雑誌の場合

例) 雑誌「みんなの図書館」は、どこにあるのでしょうか？

注)原則として



マークのない方をクリック！



検索結果一覧

雑誌 (1,22冊)

1. みんなの図書館 図書館司書研究会 図書館司書研究会
2. みんなの図書館

注)のアイコンは目次へのリンクです。

第11号

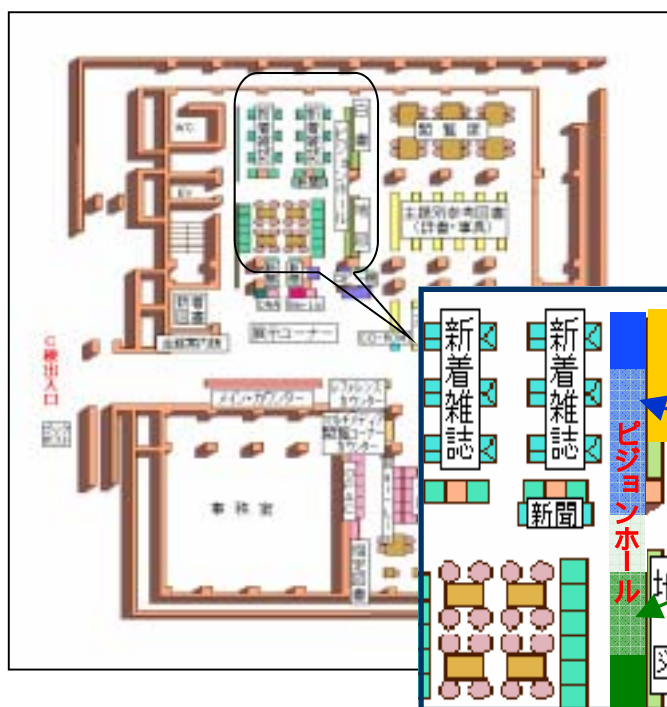
「雑誌目録情報」の画面



OPACで検索すると、詳細画面「雑誌目録情報」に「書誌」「所蔵」「各号の情報」が表示されます。本学が所蔵している巻号については「所蔵」をご覧ください。所在は「2階 電動書架」と表示されます。最新号とバックナンバーでは配架場所が異なります。必要な巻号を探す時には、気をつけてください。

		配架場所
最新号		新着雑誌コーナー
バックナンバー	今年分(1~12月)	3Fピジョンホール
	それ以前の雑誌	2F電動書架(国内雑誌) 2F電動書架(外国雑誌)

3Fフロア配置図



< 新着雑誌コーナーの見出しの例 >

みんなの図書館	With
月刊Moe	児童文学研究

白書の右側に配架されています。

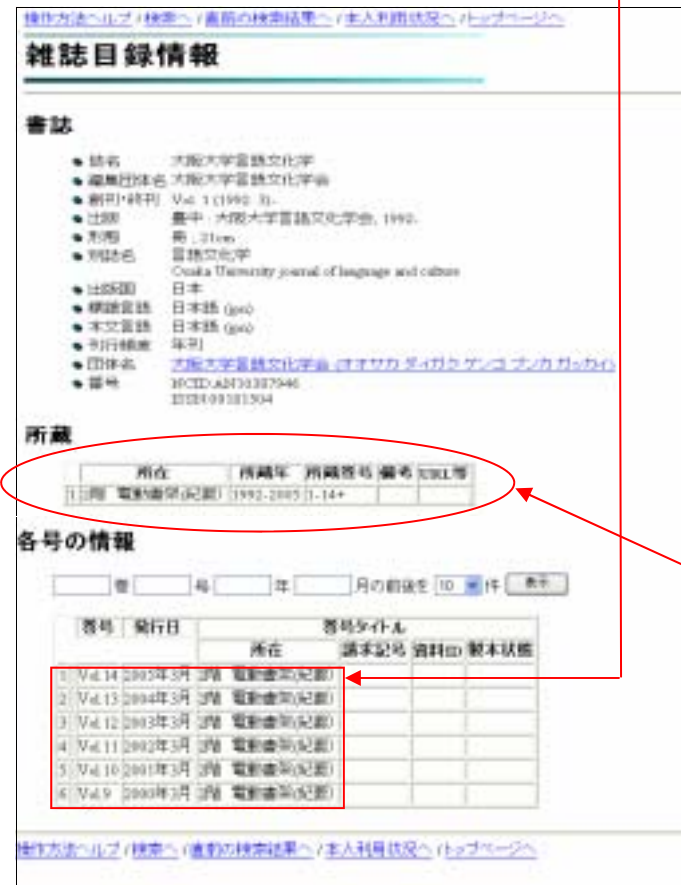
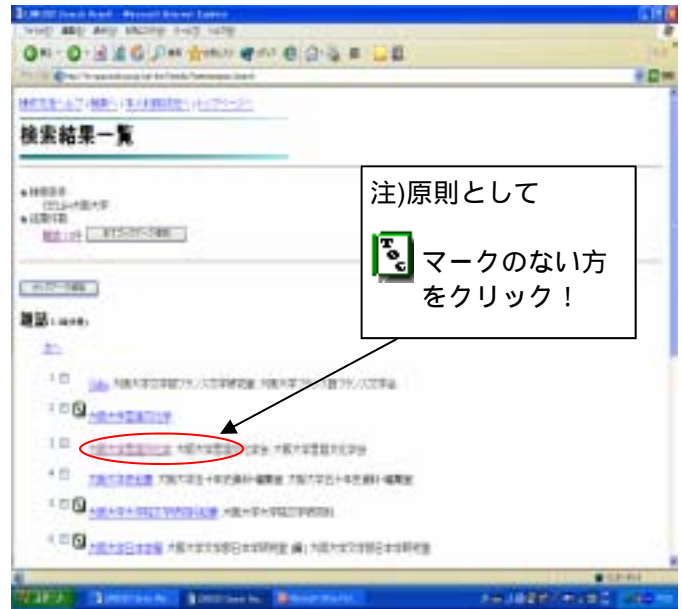
新着雑誌コーナーにて、タイトル名の左上にシールを貼付しています。シールの色によって今年分の配架場所が異なりますのでご注意ください。

- 黄シール：ピジョンホール裏側
- 青シール：B5サイズ ピジョンホール(窓側)
- 緑シール：A4サイズ ピジョンホール(カウンターコピー側)
- シールなし：2F電動書架

紀要の場合

例) 紀要「大阪大学言語文化学」は、どこにあるのでしょうか？

OPACで検索すると、詳細画面「雑誌目録情報」に「書誌」「所蔵」「各号の情報」が表示されます。紀要の書架は、発行した大学・研究機関名の五十音順に配架されているため、大学・研究機関名が必要です。紀要は最新号からバックナンバーまで全て「2階電動書架」に配架されています。

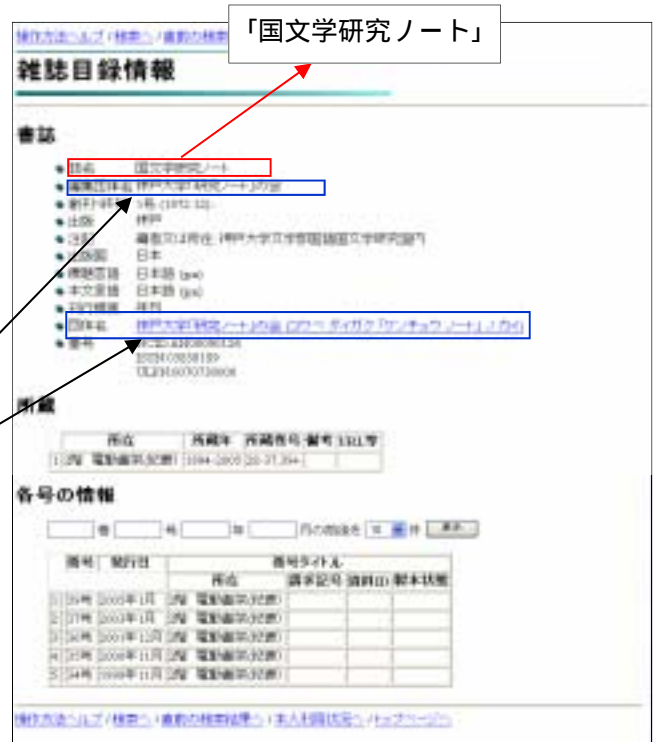


本学が所蔵している巻号については「所蔵」をご覧ください！

Q. 紀要のタイトル名では、どこの大学がわかりません。

A. 大学名が分からない場合は、編集している団体名に大学・学会名が記載されていますので、必ず確認してください。もし、分からない場合はレファレンスカウンターでご相談ください。

編集団体名、団体名で大学名が分かります。この場合、発行大学名は神戸大学となります。



2階電動書架について

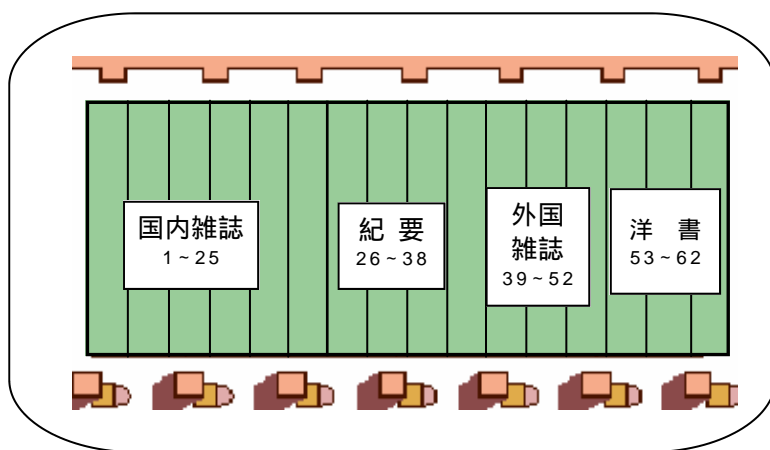
2階電動書架には、4種類の資料が配架されています。

「国内雑誌」「紀要」「外国雑誌」「洋書(000~799)」です。

各資料の「配架されている資料とその定義」「並び方」は、下表のようになっています。

書架の番号	配架されている資料とその定義		並び方
1 ┆ 25	国内雑誌 (バックカバー)	国内で出版されている雑誌。	タイトルの五十音順。アルファベットのタイトルは五十音順のあとにアルファベット順に並んでいます。
26 ┆ 38	紀要	大学・研究機関・学会などの学術団体が発行する研究論文集。	発行した大学・研究機関名の五十音順。
39 ┆ 52	外国雑誌 (バックカバー)	海外で出版されている雑誌。	タイトルのアルファベット順。
53 ┆ 62	洋書	本文が日本語・中国語以外の外国語で書かれている図書で、言語学・文学以外の図書(総記000~芸術関係799まで)が配架。	請求記号順。 大型の洋書は、通常の大サイズの洋書の後に請求記号順に並んでいます。

2F電動書架詳細図



電動書架には、番号がつけられていて、それぞれに見出しがついています。資料をさがす際、目安にしてください。

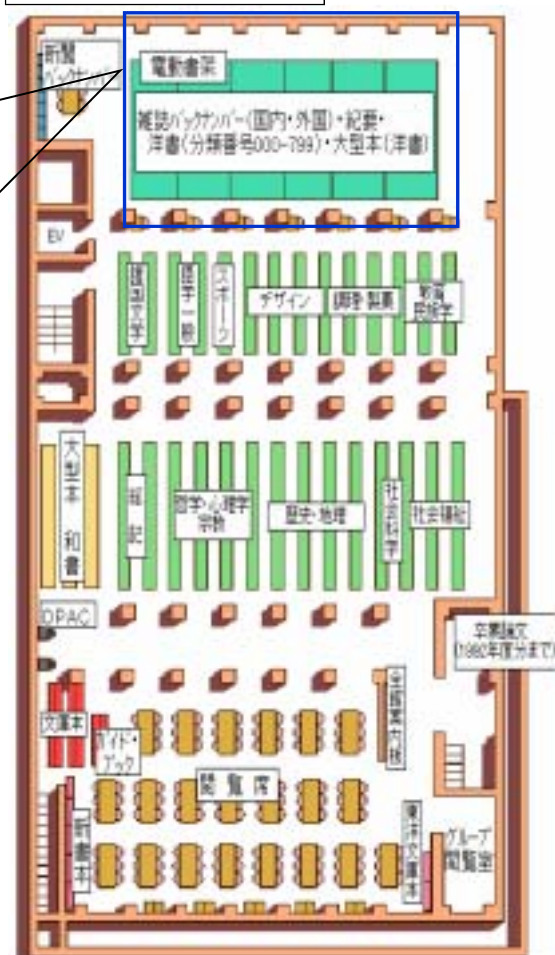
<見出し例>

1	26	39	53
国内雑誌	紀要	外国雑誌	洋書
ア~イ	ア~オ	A	000~

以上、簡単に「雑誌と紀要の違い」「2F電動書架の資料の並び方」について説明しました。

ご不明な点、書架を見て探し方が分からない、見つからない、などありましたら、お気軽にカウンターでお尋ね下さい。

2Fフロア配置図



2005年度後期 図書館展示と講演会のお知らせ

図書館展示コーナー

「古典のおとぎ話」

展示期間：10月17日（月）～ 11月25日（金）

グリム兄弟やペローに代表される童話＝おとぎ話は、児童文学の一分野として今日まで多くの子どもたちに親しまれてきました。

今回は、本学が所蔵しているものの中から、童話の代表作ともいえる「シンデレラ」「赤ずきん」の話を中心に展示しています。

これを機会に是非、幼い頃の記憶に残るおとぎ話を読んでみてください。新しい発見が必ずあるはずです。

梅花女子大学図書館公開講座

「シンデレラの憂鬱 - 幻想の受容と覚醒 - 」

「シンデレラ」と言えばシャルル・ペローの「サンドリヨン、あるいは、小さなガラスの靴」やディズニーの長編アニメーションが最も有名です。他にも「シンデレラ」話があるのですが、それは余り知られていません。時代の推移と共にさまざまに変化するシンデレラたちを味わってみませんか。

講 師：梅花女子大学 文化表現学部 児童文学科 教授 廉岡糸子

日 時：11月5日（土）13：00～14：30

受講料：1,000円 学内者、梅花学園生涯学習センター会員は無料

場 所：梅花女子大学 F棟

「アンデルセン生誕200年を記念して」(仮題)

展示期間：11月28日（月）～12月24日（土）

今年は、ハンス・クリスチャン・アンデルセンが生まれて200年にあたります。それを記念して、本学所蔵の資料を展示いたします。



展示に関するお問い合わせ：梅花女子大学図書館メインカウンターまで
公開講座に関するお問い合わせ・お申し込み：梅花学園生涯学習センターまで

学園資料室展示

梅花学園の歴史 常設展示

学校法人梅花学園の歴史は、今から127年前に遡ります。創立者澤山保羅が女子教育の必要性を提唱し「愛なる女学校」として基督教の愛と、「自給独立の精神」をもって土佐堀裏町に1878(明治11)年に開校しました。実に基督教主義学校を日本人の手で創立した最初の学校だったのです。

女学校創立から今日までを、澤山保羅中心に授業風景・制服等を展示しています。澤山記念館の静寂な空気の中で、当時の女学生たちの息吹を感じてみてください。



1898年 宣教師ミス・ケースの
クッキング・クラス

展示時間：9：00～16：00（月～金）
展示場所：澤山記念館資料展示ホール

リクエスト（学生希望資料）制度 について

図書館の資料は、本学図書館の収集方針に則って収集しています。各学科の専門図書については、教員の選書により購入しています。

その他にも基本的な資料、必要な辞書・辞典、統計類等は図書館で選択し、購入しています。

リクエスト制度とは、図書館に読みたいと思った本、聴きたいCD等がない場合に、利用者の皆さんから図書館へ資料の希望を出すことができる制度です。

本学の図書館にない資料で、学習、教養のために図書館に備えて欲しい資料がありましたら、リクエスト用紙に記入してカウンターに提出してください。学生証の提示もお願いします。（リクエスト用紙は、カウンターにあります。）

ご記入前に、「**図書館に置いて欲しい資料を申し込む前に（お願い）**」をご確認ください。

*リクエスト内容によっては、購入できない場合もあります。回答は、7日後にカウンターでお尋ねください。

*資料が入荷、整理されましたら、掲示板にてお知らせします。新着展示後、借り出すことができます。リクエストした方には、新着展示中に予約をすれば、「一番に借りることができる」という特典があります。

図書館に置いて欲しい資料を申し込む前に（お願い）

- ・本学学部学生、大学院生以外の方は、お申し込みできません。
- ・学籍番号等、必要事項はもれなく、また希望する資料についてもできるだけ詳しい情報を記入してください。
- ・一度に受付ける件数は、1人につき2件までとします。
- ・本学に所蔵していないか、必ずOPAC（蔵書検索）で調べてください。
- ・下記のものについては、希望に沿いかねる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・個人的利用価値しかないもの
 - ・すでに類似資料があるもの
 - ・雑誌
 - ・文庫・新書
 - ・教科書・問題集
 - ・入手不能なもの（絶版・品切れ・会員限定頒布の資料等）
 - ・その他、大学図書館の蔵書としてふさわしくないと判断されるもの

「リクエスト制度」を上手に利用して、有意義な読書生活を！

B.L.T

Baika Library Times

(年2回刊 4月,10月)

B L T 第11号をお届けします。

巻頭に、児童文学科の廉岡先生から「どうして魔女は意地悪なの? - 小さなキリクの大きな好奇心 - 」と題して興味深いお話をいただきました。ありがとうございました。

図書館3階展示コーナーでは、「シンデレラ」「赤ずきん」を中心に「古典のおとぎ話」の展示も行っております。この機会にぜひご覧ください。

梅花女子大学図書館

〒567-8578
大阪府茨木市宿久庄2-19-5

図書館

電話 072-643-8498

Fax 072-643-1952

Email blibrary@baika.ac.jp

学園資料室

電話 072-643-8447

Fax 072-643-1952

Email shiryo@baika.ac.jp



図書館ホームページ

URL <http://www.baika.ac.jp/lib>

新収資料から



『[カラー版]小さな絵本美術館』

鳥越信著 ミネルヴァ書房 2005.6月刊

(所在: 4階南 請求記号: 909.81 TO67)

本書は、明治から現代まで日本において出版された絵本のうち、約600冊をカラー写真で紹介しています。内容については、レトロでモダンなものからポップなものまで世代を超えて、すべて目で見て楽しめるものばかりです。ページをめくるだけで日本の絵本の歴史と発展の様相が、一目で確認できます。本書に掲載されている絵本の中には、『講談社の絵本』やちりめん本等、本学図書館所蔵のものも多数あります。幼かった頃に親しんだ絵本の1冊に出合えるかも知れません。

姉妹図書として、『はじめて学ぶ日本の絵本史』全3冊 鳥越信著 ミネルヴァ書房 2001~2002年刊 (4階南: 請求記号: 909.81 TO67 (1)~(3)) があります。